

団体名		公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター				目標値	実績値	達成状況
事業部	① 指標名	会員数及び会員就業率			目標値	会員数1,210人 就業率82.0%	実績値	会員数1,154人 就業率84.7%
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	達成状況	達成状況	
	(単位: 人、%)	1,152、79.8	1,135、81.8	1,162、79.8				会員数95.4% 就業率103.3%
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 第四期中期目標で、3大目標の一つである「就業先拡大」、「会員拡大」を掲げ、理事をメンバーとしてSC魅力化委員会、就業拡大委員会を設置し、進行管理を行いながら目標達成に向けて取組みを行った。 ①会員拡大 ・市報むさしのに会員募集及びセンター案内記事を毎月1日号に掲載したほか、11月に市民会館で西部地区出張説明会を開催し、26名が参加、11名が入会した。また、11月に東京都しごと財団と共同で60歳以上の市民を対象とした料理講習会、12月にセンター主催の市民向け料理セミナーを開催し、入会促進に努めた。 ・ハローワークとタイアップし、センター側からはチラシ、入会説明会日程表を置いてもらうなど相互に情報提供を行った。 ②就業率 ・理事による事業所訪問や関係団体への営業活動を行ったほか、会員への就業情報の提供のために「就業ニュース」を月2回発行した。 ・新入会員を対象に、理事が就業の希望などを聞くフォローアップ相談会を12回実施した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・令和元年度末の会員数は1,154人で、目標値を下回り前年より8人減となった。一方、就業率は84.7%で、前年より4.9ポイント増となった。 ・会員数については、平成23年をピークに減少傾向で、平成30年度は増加したが再び減少した。会員の減少は、定年延長や企業の求人状況などの雇用環境、2月以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、入会者数が伸びなかったと考えられる。令和2年度も新型コロナウイルスの影響で4月、5月に入会説明会が行えず、厳しい状況が続いている。全戸チラシの配布など会員拡大に向けた一層の取組みを行いたい。 ・就業率については、フォローアップ相談会を7月から開始し、一定の効果を上げていると考えられるので、引き続き実施していく。						
二次評価	新型コロナウイルスの影響を含め、様々な環境の変化により、昨年度増加した会員数が減少となった一方で、就業率が目標を達成したことを評価する。就業率が高いことは、会員数の増加を図るうえでの大きなPRになるため、引き続き就業率の増加に向けて様々な営業活動や会員への情報提供を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響下において、より効果的な会員拡大の取組みについて検討し、実施していただきたい。							
財務部	② 指標名	事業契約額(請負・委任事業、派遣事業等)			目標値	410,000千円	実績値	411,176千円
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	達成状況	達成状況	
	(単位: 千円)	376,677	383,930	407,869				100.3%
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 第四期中期目標で、3大目標の一つである「就業先拡大」、「会員拡大」を掲げ、理事をメンバーとして各部会、委員会で行いながら目標達成に向けて取組みを行った。会員数の増加や就業率の増加は、事業収入の増加にも直結することから、取組みとしては①と重複する。そのほかの取組みは以下のとおり。 ・センターの主要取引先の中から、特に重要と思われる取引先をピックアップし営業活動(企業訪問)を行った。 ・企業への開拓訪問の際に持参する資料の改定を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・事業実績としては、民間からの請負・委任事業が393,500千円、派遣事業が17,676千円、合計411,176千円となり前年度から3,307千円の増加となった。請負・委任事業では2,210千円、派遣事業は1,097千円の増加があり、目標を達成した。 ・主なプラス要因は公共部門での広報配布、いきいき支え合い事業、民間では高齢者家事援助サービス、庭木の手入れ、除草作業などの事業が伸びており、需要の拡大があった。 ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、8月までの契約額の累計は前年度比34,000千円の減収となっている。今後も厳しい状況は続くと思われるが、契約額も徐々に前年並みに回復しつつあるため、引き続き新たな就業開拓、会員数の拡大などの取組みを実施していきたい。						
二次評価	請負・委任事業、派遣事業ともに前年度より増加し、目標を達成したことを評価する。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和元年度の実績を超えることは困難であると想定されるが、引き続き、会員数増加、就業率増加の取組みとともに、事業収入の増加に向けた取組みに努めていただきたい。							
内部管理部	③ 指標名	組織強化と人材育成			目標値	事務局体制の改善	実績値	内部登用、主任昇任、ジョブローテーションの実施
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	達成状況	達成状況	
	(単位: )	-	-	新たな目標のため過去の実績なし				70.0%
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 令和元年度の正職員数は4名(欠員1名)という少数職場であり、また、職員構成(経験年数、役職)がアンバランスであることから、組織強化、人材育成の観点により昇任、採用等の任用及び職員研修を以下のとおり実施した。 ①正職員1名の退職に伴い、嘱託職員の内部登用(正職員)の実施。②主事2名の主任昇任。③会計担当のジョブローテーションの実施。④上部団体であるしごと財団の定期研修のほか、新たに全国公益法人協会の準会員となり、協会主催のセミナーへの職員参加の実施。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 7月に会計担当職員が退職したことから、ジョブローテーション、内部登用試験、新担当者の会計研修などを実施し、一定の目標は達成した。しかし、職員体制が整わなかった(病休者など)ことから総務部門の業務整理、担当業務のマニュアル整備、規程の見直し等については検討にとどまった。令和2年度は、市職員OBを総務担当次長として配置し、総務部門の業務整理、予算執行管理強化等に取り組みしており、積み残しの課題に取り組みしていく。						
二次評価	会計担当職員の退職を契機に、ジョブローテーション、内部登用試験、各種研修等への参加を進めてきたことを評価する。目標に達しなかった総務部門の業務整理、コンプライアンスの徹底に向けた規程の見直し、働き方改革法の施行に伴う就業ルールの見直し等について、引き続き取り組みを進め、事務局体制の強化を図っていただきたい。							